



月刊 不屈
1989年5月8日
第三種郵便物認可
号外



20.11.25

映画千代子

information ⑦

〒113-0034 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 9階
治安維持法 国賠同盟 中央本部
chian@bz03.plala.or.jp ☎03-5842-6461
担当・藤田=☎090-4527-1129 fax04-7174-2028
mail: fujitahiro@outlook.com



桂総監督 志もって取り組む

一製作の展望を語る

I. 映画「伊藤千代子の生涯」今日の製作の意義

映画「伊藤千代子の生涯(仮)」は、多くの一般的な商業映画と一線を画する民主的な映画運動から生れる作品です。遡ること、アジア人民2000万人余を殺傷し、国内で300万人を死亡させた悪辣な侵略戦争から75年が経ちましたが、今日の日本の政治の現実、あの無謀な戦争責任を反省し平和で豊かな国を築いてきたでしょうか、それはNOと云わなければなりません。支配層の頭脳は現在も伊藤千代子が生きた時代と変わらず天皇専制支配と治安維持法を当たり前と考えているのです。

そして、女性差別が制度化する時代に女性の地位向上と男女平等をめざす伊藤千代子を描き、今日の「ジェンダー平等」の運動に貢献する作品でもありたい。その認識に於いて今回、映画化される「伊藤千代子の生涯(仮)」の製作・上映運動は、社会の進歩を否定する反動政治から平和と人権と民主主義を勝ち取る極めて意義のあることと確信致します。

私は、この映画の監督として、志を持って全力で映画完成に取り組む決意です。

II どういう映画をめざしているか

- ① 若き千代子像を憲法改悪が画策され平和が脅かされる現代に生き生きと照射する作品とする。
- ② 日本の真実の歴史を描き、平和と人権と民主主義の意義と価値を持つ作品とする。
- ③ 映画が語り、伝える、伊藤千代子の生きた時代の国家の強権政治と弾圧。それに抗議し抵抗する主人公の正しい生き方が感動を呼ぶ作品。また、愛と裏切と別離の人間のヒューマニズムを描く。
- ④ 絶対的天皇制の治安維持法の時代に戦争に反対し、主権在民をめざした千代子の苦難と希望を描く作品
- ⑤ いい映画には人間の生き方に影響を与える力がある。特に若い人へ見て頂きたい作品とする。
- ⑥ あらゆる人が鑑賞できる全国公開の場を設ける

【III 完成と上映の目標】

◎2021年秋 撮影開始

◎2022年春 上映開始

千代子の生涯を語る PR 動画 完成

同盟千代子チームは、伊藤千代子の生涯を広く知り、映画募金や製作運動に役立てるため **PR 動画**を作成。

1枚	500円(送料込)
5~9枚	450円 //
10枚以上	400円 //

